

川村専門委員による無機ヒ素に関する疫学研究のレビュー結果

資料1-2

文献番号	調査地域	エンドポイント	対象者 スペクトル連続性	転帰の種類	カテゴリ分けの 種類(数)	各カテゴリの 対象者数	各カテゴリの 転帰発生数	交絡因子の 調整	量反応関係の 一方向性	有意カテゴリの リスク比	総合的 妥当性	LOAEL設定 是非	BMD 可能性
25	バングラデシュ	皮膚病変	○	二値	任意(5)	116~384	12~110	○	おおむね○	3.25/3.06	○	○	○
26	モンゴル	皮膚病変	○	二値	任意(7) 対数等間隔に近い	92~3429	9~235	○	おおむね○	2.52	○	○	○
29	バングラデシュ	皮膚病変	○	二値	分位(5)	2200前後	53~268	○	○	1.88	○	○	◎
48	バングラデシュ	皮膚病変	○	二値	(喫煙別) 分位(3)	(非喫煙で) 380/1900	(非喫煙で) 16~40/15~57	○	おおむね○	2.5/2.3	△	△	△
86	インド	皮膚病変	○	二値	任意(5)	ピーク値31~144 平均値34~132	6~103 34~132	○	○	3.1	○	○	○
92	モンゴル	皮膚病変	○	二値	任意(4)	72~165	5~27	○	おおむね○	5.25	○	○	○
22	デンマーク	肺がん、 膀胱がん	○	二値	分位(4)	不明	不明	○	なし	なし	○	×	×
30	チリ	肺がん	○	二値	任意(5)	31~208	5~79	○	○	3.9	△	△	○
43	台湾	肺がん	○	二値	任意(5)	人年 5675~21677	17~31	○	おおむね○	2.04	○	○	○
129	台湾	肺がん	○	二値	任意(5)	不明	20~51	○	おおむね○	2.25	△	△	△
37	USA	膀胱がん	○?	二値	任意(4→3)	68~242(20年平均、 5年ラグ)	25~121	○	なし	なし	○	×	×
39	フィンランド	膀胱がん	○	二値	任意(3)	不明	19~23	○	○	2.44	△	△	△
74	台湾	膀胱がん	○	二値	分位(4)	約60	14~21	○	なし	なし	○	×	×
130	台湾	膀胱がん	○	二値	任意(5)	691~2288	5~11	○	○	4.13	◎	◎	◎
149	USA	膀胱がん	○?	二値	任意(3)	77~452	38~188	○	なし	なし	○	×	×
2	中国	神経系(IQ)	△ 対照群は 別途設定	連続量 (対数化)	任意?(3)	91~196	91~196	なし	○	なし	×	×	×
4	バングラデシュ	神経系(IQ)	○	連続量	分位(4)	50	50	○	おおむね○	スコア値 -6.4	△	△	○
6	バングラデシュ	生殖発生(死産)	○	二値	任意(3)	3455~16860	153~499	○	○	1.80	○	○	△
10	バングラデシュ	生殖発生 (自然流産)	○	二値	任意(3)	43~197 (割合より計算)	4~71	○	△	2.4	△	△	×
11	バングラデシュ	生殖発生 (胎児、乳児死亡)	○	二値	分位(5)	5600 5100	464~528 229~308	○	△	1.24	○	○	△
14	インド	生殖発生(死産)	○	二値	任意(3)	51~470	1~21	○	△	6.07	△	△	△